



暑さ軽減のための対策について

日ごろは、本校教育のために、さまざまな面でご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、年々気温が上昇する傾向にあり、5月ごろでも日差しが強い日が続くことがあります。また、5月の下旬には、運動会も予定しております。そのため、本校において、児童の暑さ軽減のために以下のような対応をとって参りますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

- 通学用のかばんは、ランドセルに限っておりません。通気性のよいリュックサックタイプのかばんを使用させていただいて構いません。ただし、両肩でかけるものにしてください。
- 水筒の中身をお茶に限らず、スポーツ飲料等を持たせていただいても構いません。ただし、スポーツ飲料等において「より、のどが渇く」「糖分の取り過ぎ」なども懸念されております。ご家庭でよく相談した上で、対応をお願いいたします。
- 体を冷やす目的で使用する物品も持たせていただいても構いません。（例 首にかけるクールタオル、うちわ、扇子、保冷剤、冷たいタオルなど）
ただし、ミストタイプのものやスプレータイプのものなど、周りの児童に影響がありそうなものはご遠慮ください。
- 日傘の使用も可とします。ただし、登下校時（晴天時）に視界が狭くなることや、他の児童に傘の先が接触することがあるなど、心配な点もあります。ご家庭でもお話しください。

※ その他持たせてよいか判断に迷う場合は、担任にご相談ください。

※ 持ち物には、全て記名をお願いいたします。

※ 新型コロナウイルス感染症対策として、窓を開けて換気をするため、教室のエアコンが十分にきかない可能性もあります。ご家庭でご相談の上、ご協力いただきますようお願いいたします。

体育授業における肌着の着用について

体育の授業で、体育の服装の下に、肌着を着用してもしなくても構いません。体育の授業後は、汗をかきますので、汗を拭いて着替えができるようにタオル等の用意をお願いします。必要があれば、着替えを持たせてください。

裏面に続く

児童の通学時における負担軽減について

本校では、児童の通学時における身体的・精神的な負担軽減を考え、また、名古屋市教育委員会より「通学時に持ち歩く学習用具について実態を把握・検討し、負担軽減に向けた取組をするように」との通知もあり、「学校に置いて帰ってよい学習用具」を以下の通りといたします。持ち物・学習用具には、確実に記名をしていただきますようお願いいたします。

<学校に置いて帰ってよい学習用具>

国語	書写練習帳、「国語の学習」、文字の練習帳
生活	「わたしのあゆみ」
理科	「わたくしの観察・実験」
社会	「わたしたちのきょうど」、地図帳、資料集、社会科ファイル
音楽	音楽ワーク（リコーダー等の練習帳を含む）、リコーダー、鍵盤ハーモニカ
図画工作	はさみ、のり、色鉛筆、パス、新聞紙、粘土、粘土板
家庭科	「家庭科の学習」
体育	体操服、体育館シューズ
道徳	「どうとくノート」
総合	総合ファイル
外国語	「Let's Try」、「NEW HORIZON」、「picture dictionary」
その他	道具箱、天候等の理由により使用しなかった学習用具

- ※ 宿題・家庭学習の状況に応じて、持ち帰る場合もあります。
- ※ 図画工作の材料等は、学習用具の少ない日に予め持ってくるよう、連絡します。
- ※ 低学年で、夏休み前後・学年末等に、植木鉢を家庭に持ち帰る（学校に持ってくる）際には、保護者にご協力をお願いしています。
- ※ 道具箱は、長期休業時のみ持ち帰ります。
- ※ 上記以外にも、各学年でお知らせしている置いて帰ってよい学習用具もあります。